

平成27年度 大牟田市居住支援協議会 事業報告

事務局(社協と市・建築住宅課)を中心に構成団体より協力を得て、①相談対応マニュアルの作成及び相談支援実施体制の構築、②協議会活動等の周知、③介護・医療・福祉・学術等と連携したモデル事業の実施、④所有者を対象とした意向調査の実施及び研究を行った。

【年間実績表】


取組内容	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会議	● 総会									● 全体会議 研修会
相談支援 実施体制 構築				← 部会開催 →			← マニュアル作成 →			
				← 住みよかネット情報更新 (随時) →						
					← 入居支援のあり方調査研究の委託 →					
周知活動			● 相談会		● ● セミナー 研修会			● 相談会		● 研修会
			← フェイスブック・ホームページ更新 (随時) →							
モデル 事業実施				← 検討 (実施計画・実施場所) →			← 準備 →		← 地域説明 →	
意向調査 実施		← 調査準備 →		← 委託 (調査票発送・回収・分析) →						

①相談対応マニュアルの作成及び相談支援実施体制の構築


<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅管理部会の開催(計3回) 〔空き家所有者からの相談対応、提供物件の確認、及び契約までの環境整備に関する検討を行った。〕 サポート部会の開催(計3回) 〔住宅確保要配慮者の相談対応や入居前後の支援内容について検討を行った。〕 マッチングアドバイザーの設置 〔所有者と要配慮者のマッチングから契約までの環境整備を行った。〕 <ul style="list-style-type: none"> 『住みよかネット』掲載情報の充実 入居支援のあり方調査研究の実施 	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談マニュアル作成 マッチング件数 12件 入居契約件数 8件 (母子世帯3件、被災(火災)世帯2件、入居支援団体1件(シェアター利用)、高齢者世帯1件、生活困窮者1件) 提供を受けた空き家情報の掲載や、高齢者向け住まい(施設等)情報の更新の呼びかけを行った。 登録件数:空き家 16件・施設 73件 居住支援を必要とする支援者は身体機能に合わせた住替えニーズが高いこと、また、一人暮らしの場合見守り機能が重要であることがわかった。 <div data-bbox="1114 235 1441 656" style="text-align: center;"> <p>相談対応マニュアル</p> <p>平成28年3月 大牟田市居住支援協議会</p> </div>
---	---

②協議会活動等の周知

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> フェイスブック及びホームページの更新(随時) 無料相談会の実施 〔日時:①平成27年8月14日(金) 10:00~14:00 ②平成27年11月28日(土) ※セミナーと同日開催 ③平成28年1月16日(土) 9:00~13:00 会場:①労働福祉会館、②イオンホール ③総合福祉センター 相談件数:①27件・②7件・③41件〕 サービス付き高齢者向け住宅事業者研修会の開催 	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> フェイスブック及びホームページによる情報発信やセミナーを行うことにより、市民からの相談や空き家の提供が増え、住宅確保要配慮者の入居に繋がった。 <div data-bbox="837 1442 1441 1742" style="text-align: center;"> </div> <p>主な相談内容 ※③の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 活用(相続含む) …17件 管理 …………… 5件 処分(相続含む) …16件 解体 …………… 3件 <ul style="list-style-type: none"> 市内9か所のサービス付き高齢者向け住宅事業者が参加し、サービス付き高齢者向け住宅連絡協議会が設立された。
---	--

<p>日時:①平成27年11月27日(金) 15:00～16:30 ②平成28年2月4日(木) 15:00～17:00 会場:総合福祉センター 参加者:①18名・②27名</p> <p>・セミナーの開催</p> <p>日時:平成27年11月28日(土) 13:00～16:00 会場:イオンホール(イオンモール大牟田) テーマ:空き家の利活用 ～眠った資源を活かしてより良いマチへ～ 参加者:90名 (一般市民、行政、福祉・不動産関係者等)</p>	<p>研修内容</p> <p>①サービス付き高齢者向け住宅に係る政策の動向 講師:国土交通省住宅局 企画専門官 堀崎真一氏</p> <p>②地域包括ケアシステムとサービス付き高齢者向け住宅 講師:明治大学理工学部建築学科 教授 園田真理子氏</p> 
--	--

③介護・医療・福祉・学術等と連携したモデル事業の実施

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 手鎌校区の空き家を活用したモデル事業を実施するため、関係団体と情報を共有し、ネットワーク拡充と実施体制について検討を行った。 ワークショップ開催 <p>日時:平成28年1月15日(金) 18:00～20:00 会場:有明高専 テーマ:産官学で連携し、空き家を活用した地域とつながった暮らしを考える。 参加者:30名 (みさき病院、手鎌包括、有明高専、県・住宅計画課、事務局等)</p>	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民や医療機関、地域包括支援センターと連携し、事業を実施するため実行委員会の組織化に向けて準備を行った。 空き家の改修プランと運営方法の検討を行った。 
---	---

④所有者を対象とした意向調査の実施及び研究

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 有明工業高等専門学校 建築学科と連携し、空き家所有者を対象にアンケート調査を実施。 <p>調査期間:平成27年9月～平成28年2月 調査対象:①A・Bランクの空き家 862件 ②Cランクの空き家 741件 回収数:①425件(回収率 49.3%) ②319件(回収率 43.0%)</p>	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家になった期間や理由、維持管理の状況が見えてきた。また、今後の活用意向については第三者に売却を希望している所有者が多数いることがわかった。
--	---